

KICK OFF 通信



揺れ動く世界・そして日本

◆英国・EU離脱決定からの政治情勢

去る6月24日の開票結果を受けて、英国の欧州連合(EU)からの離脱が決定しました。英国国民の過半数以上、とりわけ高齢者層にその傾向が強くなりました。

自分たちの仕事を奪われ、移住してきた人の社会保障まで負担している現状に不満を爆発させた結果です。他方、若年層は離脱に大いに不安を感じているとのこと。

英国がEUを離脱するには早くも2年かかり、新たに自由貿易協定を結ぶにも長い時間を要します。そして、英国議会の承認が必要となりますが、現状からして、下院では圧倒的に残留派が占めておりますので、再度EU離脱や協定の内容について国民に信を

問う必要性が出てきましよう。すなわち、年内にも解散総選挙のシナリオが現実味を帯びてるのです。

◆アメリカ大統領選挙がもたらすもの

年末に向け、かまびすしくなるのは米国大統領選挙。両有力候補の人氣度は、過去最低らしいですね。

我が国でも関心事の1つである環太平洋経済連携協定(TPP)ですが、既にトランプ氏はこれからの離脱を宣言し、クリントン氏も再交渉に言及しております。果たしてTPPの先行きはなることやら…。

そもそも過去数年間に亘り、米国がTPP妥結に向けての旗振り役となっただけに、根幹を揺るがすことに発展しかねません。英国と同様、目先の利益を優先するあまり、それを喪失する不安と恐怖からの逃

避行ではないでしょうか。

◆参議院選挙後、どうなる？我が日本

英国の離脱、そして米国大統領選挙の勝敗が我が国に何をもたらすのでしょうか…。確かに金融的な信用不安が、金利や為替に一定上のダメージを与え続けることは必至となります。

しかし、物流的となると、これは予測が分かります。何故なら、世界全体の貿易量と比べ、英国のモノの移動によるインパクトは限定的だからです。

むしろ我が国が注視しなければならないのは、アジアの動向ではないでしょうか。TPPも暗礁に乗り上げた場合、我が国の選択肢はアジアとの関係強化に軸足をシフトせざるを得ませんので。



【プロフィール】

- 昭和37年 7月28日生まれ
神奈川県立湘南高校・慶應義塾大学卒業、サラリーマン生活を経て代議士秘書に…
- 平成 4年 「税は政治なり」との思いで税理士試験に合格
- 平成 7年 県議会議員初当選～平成19年まで連続3期
- 平成19年 第21回 参議院議員選挙 当選
予算委員会・ODA委員会などの理事を歴任
- 平成26年 第47回 衆議院議員選挙 当選
維新の党・税制調査会事務局長
- 平成28年 民進党結成に参画 国土交通委員会 & 沖縄北方委員会の両理事

水戸まさし

衆議院議員／神奈川県第5選挙区支部 (戸塚・瀬谷・泉)

